

第118回 教育研究評議会要録

日時 平成26年6月18日(水)午後1時00分～午後2時48分
場所 第一会議室
出席者 今岡学長, 井上理事, 小路田理事, 角田理事, 笠井理事, 柳澤文学部長,
岩井理学部長, 三木生活環境学部長, 中島人間文化研究科長, 内田, 野村, 小林,
林井, 松田, 増井, 上江洌, 出田各評議員
列席者 小川学長補佐, 小山学長補佐, 酒居監事, 福田監事, 塚本総務・企画課長,
小田原国際課長, 大原研究協力課長, 西田財務課長, 齊藤施設企画課長,
藤熊学務課長, 木下学生生活課長, 秋庭学術情報課長

議事に先立ち, 前回の記録確認。

I 審議事項

1. 奈良女子大学日本語・日本文化研修留学生プログラム規程の制定(案)について
井上理事から, 規程制定の趣旨及び内容について資料1により説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認し, 本日付けで施行することとした。
2. 平成25事業年度に係る業務の実績に関する報告書について
小路田理事から, 6月末に文部科学省に提出する平成25事業年度に係る業務の実績に関する報告書について資料2により説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認し, 経営協議会及び役員会へ提案することとした。
3. 平成27年度施設整備費補助金等概算要求(案)について
笠井理事から, 平成27年度施設整備費補助金等概算要求(案)について, 資料3により, 説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認し, 経営協議会及び役員会へ提案することとした。
4. 寄附金等の寄附を受入れるための充実方策について
笠井理事から, 資料4により, 現在ある「奈良女子大学基金」と「奈良女子大学国際交流基金」を整理統合して「奈良女子大学なでしこ基金」を設立し, 本学の教育環境整備等資金とするための寄附を募集する旨の説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認し, 経営協議会及び役員会へ提案することとした。
なお, 評議員から, 不要となった書籍を寄贈願い, その書籍の売却代金を教育環境等整備の資金とする事業について説明があり, 本学での導入について検討依頼があった。

5. チッタゴン大学との学術交流協定及び学生交流に関する合意書の締結について

井上理事から、バングラデシュのチッタゴン大学との学術交流協定及び学生交流に関する合意書の締結に関し、経緯及び効果について資料5により説明があり、審議の結果、これを承認した。

なお、学長から協定書の作成及び手続きに関して確認があり、国際課長から、協定書(案)は国際交流協定締結取扱要項の別紙文例により作成する予定であり、同要項の規定により、国際交流委員会が別紙文例と同じ若しくはこれに準ずると判断すれば、教育研究評議会等での議を経ずに、学長の承認をもって締結できる旨説明があり、了解された。

6. 平成27年度学年暦について

角田理事から、平成27年度学年暦の改訂について教育計画室で検討の結果、平成28年度に共同専攻設置に伴う大幅改訂が想定されることから、平成27年度は従前の学年暦を踏襲して作成した旨の説明があり、学長から資料6により諮られ、審議の結果、原案のとおり承認した。

II 報告事項

1. 国立大学改革強化推進補助金事業について

学長から、国立大学改革強化推進補助金事業として、本学とお茶の水女子大学との連合による大学院共同専攻設置および理系女性教育開発共同機構の設置について、お茶の水女子大学と共に文部科学省と折衝している旨の報告及び共同専攻等の設置案について資料7により説明があり、このことについて種々意見交換が行われた。

また、学長から、このことについて説明会を行う予定である旨発言があった。

2. 第135回役員会について

学長から、5月23日に開催された第135回役員会の審議概要について報告があった。

3. 国立大学協会通常総会について

学長から、6月16日に開催された国立大学協会通常総会の審議事項のうち、大学ポートレート事業、学生の就職・採用活動時期の移行及び学校教育法及び国立大学法人法の一部改正について資料8により報告があった。

4. 各室からの報告等について

・倫理・人権委員会：

6月4日に委員会を開催し、平成26年度事業計画として人権問題研究集会の実施及びリブレットの刷新について検討したことについて報告があった。

・評価企画室：

第2期中期目標期間の評価報告書の作成について検討し、そのための準備として認証評価において改善を要するとされた事項への対応について各部局での回答を依頼して

おり、学生及び企業へのニーズ等に関する調査アンケートを実施することなど報告があった。

このことに関して文学部長から、評価に係る授業時間以外の学習状況の把握や、就職状況調査などは、大学全体に関わる事項であり、統一した調査の仕方の基準を示して実施した方が良いとの意見があった。

記念館運営委員会：

秋の記念館一般公開終了後11月15日までに記念館の展示物品の移転作業を行うこと、また、この機会に記念館での展示方法を見直すため、各部局において移転させた物品の廃棄や売却も検討願うこととした旨の報告があった。

広報企画室：

入試に係る広報活動の充実、佐保会と連携した講演会の実施及び予備校の説明会への参加を検討している旨報告があった。また、入試の広報活動として高校訪問を行う場合は、3学部で調整するよう依頼があった。

教育計画室及び学生支援室：

平成26年度文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等取組拡大」に採択されたことについて報告があった。

また、これに伴い必要となるSD研修の実施について、総務・財務担当理事に対して協力要請があった。

5. その他

・学長から、プロジェクト経費については、継続する課題であっても、全て平成27年度末までで終了するよう通知していたが、本学の機能強化に関わるプロジェクトについてはそれ以降も申請によって継続可能とした旨連絡があった。

・学長から、本年5月30日付け財務省財政制度等審議会報告書「財政健全化に向けた基本的考え方」が同省ホームページで閲覧できること及び同報告書における文部科学省(文教)関係に対する財務当局の考え方について発言があった。

・小路田理事から、オープンキャンパス前の全学一斉清掃終了後、大学生協と共催による懇親会について案内があった。